

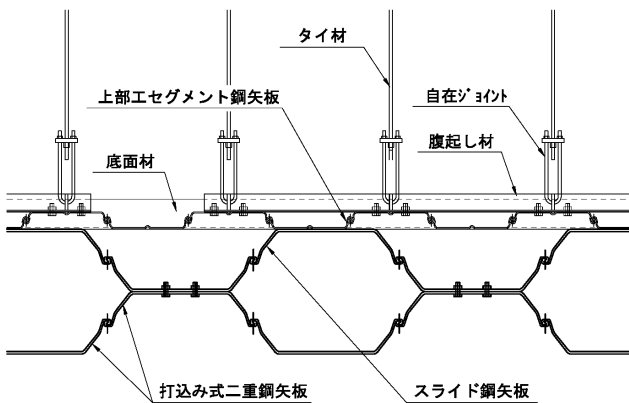


## INSEM-ダブルウォール + スライド式二重鋼矢板基礎

2011年9月台風12号により、奈良県、和歌山県では大規模斜面崩壊による河道閉塞が発生。北股地区においては、幅約200m、長さ約400mにわたり崩壊し、約120万m<sup>3</sup>の崩壊土砂が河道を閉塞した。

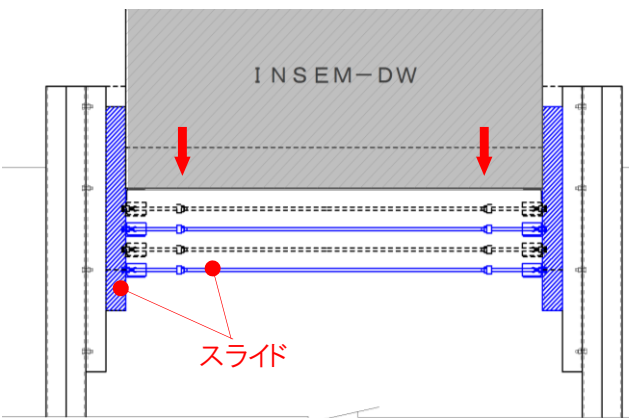
国土交通省近畿地方整備局 紀伊山地砂防事務所 【北股地区下流堰堤】規模:H=14.5m、L=76.9m

### <スライド部構造>



スライド鋼矢板

打込み式二重鋼矢板



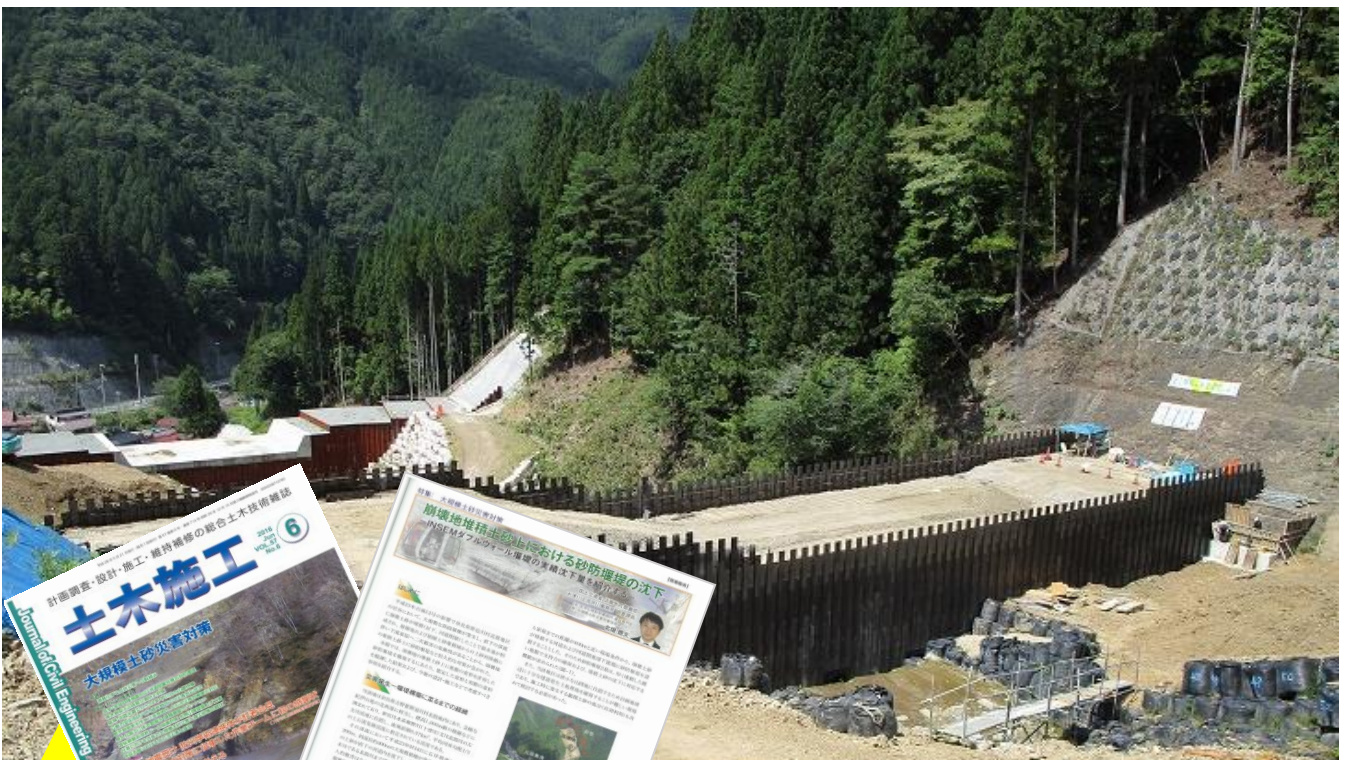
#### 選定理由

- 崩壊地堆積土砂上に砂防堰堤を構築するため、沈下に対し追従性に優れる。
- 現地崩積土の有効活用。
- 支持層が深く、大規模な掘削・深層混合では不経済になるため打込み式二重鋼矢板基礎を併用。





■ 台風豪雨(2014年8月)時の越流状況(北股地区) 下流域に被害なし。



■ 北股地区上流基幹堰堤(施工中)  
INSEM-ダブルウォール+スライド式二重鋼矢板基礎  
H=14.5m、L=76.3m

※ 関連記事  
「土木施工 6月号/特集:大規模土砂災害対策」